

平成29年度福岡市小図研 9月定例会記録

文責：西田義幸（老岐小）

9月定例会の内容

日時：平成29年9月16日（土）
13：30～15：30
場所：福岡市立三筑小学校図工室・図書室
内容：『子どもの発想力を高める立体や
工作で表す学習』
実技研修
下学年コース
2年「しんぶんしとなかよし」
(造形遊び)
上学年コース
5年「せんたくばさみの大冒険」
(造形遊び)
6年「ほね組アンバランス」
(造形遊び)
授業研究部会
参加者：22名

実技研修

第2学年題材「しんぶんしと なかよし」(造形遊び)

講師：福岡市立百道浜小学校 林田公与先生

題材のねらい

本題材は、新聞紙という大きな紙の質感や特徴を体全体を使って味わい、広げたり破いたりして形を変えながら思いついた形をつくる造形活動の題材である。新聞紙は、何かを包んだり敷いたりするなど日常的に使われており、児童も丸めたり、折ったり、破いたりして遊んだ経験が多少はある。破れやすく弱い部分がある反面、たくさんの新聞紙を組み合わせることで厚みが生まれ、丈夫なものや立体感のあるものをつくり出すことができる。そのため、活動に広がりをもたせることができ、自由な造形遊びが期待できると考える。

学習の流れ

はじめに、新聞紙という身近な素材について、自由に活動しながら、どんな表し方ができるか、考えたり、試したりする時間を与える(材料体験)。

「穴を開ける」「丸める」「やぶる」「並べる」「包む」「ねじる」「巻く」など、自由に活動することで、様々な表し方を考えたり、試したりすることができる。



次に、見つけた表し方を組み合わせて、自由に形をつくらせる。



○ セロハンテープを準備し、表し方をより工夫することができるようにする。

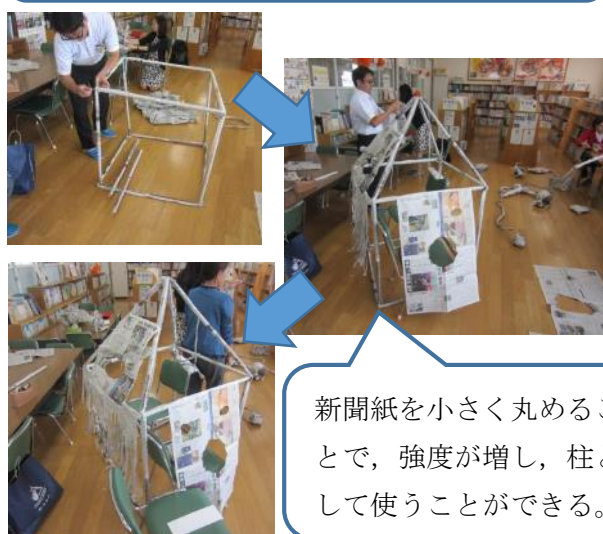


新聞紙をたくさん準備しておくことで、いろいろな表し方を工夫すること

○ 制作途中で、鑑賞を行い、友達の作品のよさや工夫に気付かせる。

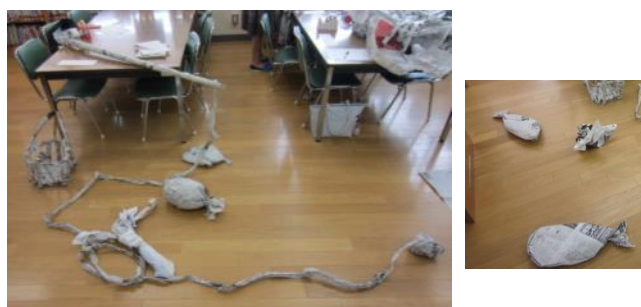


活動中、共同で制作することもできる。



新聞紙を小さく丸めることで、強度が増し、柱として使うことができる。

○ 活動中、「つくりたいもの」をイメージさせることで、より表し方を工夫できるようにする。



・新聞紙をどんどんつなげると、つりざおに見えてきたよ。魚もつくったよ。



・「ようせい」をイメージして、新聞紙をねじって、羽をつくったよ。

最後の鑑賞では、新聞紙を使った表し方のよさや工夫に関心をもって見るができるようにする。(鑑賞)

○ 画用紙に題名をかき、裏にして置くことで、鑑賞者が何を表しているのか、クイズ形式で想像しながら、楽しく鑑賞することができるようにする。

